

青少年応援プロジェクト@地域のご案内

参考資料③

ダイバーシティの意識を育む取組を推進！

💡 青少年応援プロジェクトとは？

近年、高齢者や障害者、外国人などの多様な人との交流機会が地域において増加しており、多様性の尊重や多文化理解の心について、青少年に対し伝えるとともに、地域自らが円滑に発信していく土台を創ることで、青少年のダイバーシティ意識を育む取組を推進するために東京都と区市町村が連携して実施している事業です。

内容

○テーマ(次の3つからお選びください。)

- ①多様な他者への理解 ②スポーツ体験 ③職業体験

○構成(計100分程度)

- ・第1部 講演会
- ・第2部 講師との交流体験・情報交換、デジタル技術を活用した体験(VR等)

第1部は講師の経験等に基づく講演会、第2部は講師との交流体験や情報交換を通して、さらに第1部の理解を深めます！

交流体験を楽しく効果的に行うため、第2部ではVRなどデジタル技術を活用したメニューも選択可能です。

○講師・プログラム等

実施区市町村の意見を伺い、テーマや希望に沿った講師・プログラムを都が用意します。

対象(50人～160人程度)

- ・青少年(18歳未満)
- ・青少年の健全育成に携わる地区委員
- ・地域住民等

実施期間

- ・令和8年6月1日(月曜日)から令和9年2月28日(日曜日)まで

※ 土日祝日も開催可能(年末年始を除く)

費用 会場使用料及び会場の光熱水費(その他の費用は東京都が負担)

区市町村で実施する既存事業の中でのご活用も可能です！

例:地区委員会研修会、ジュニアリーダー研修会

<青少年応援プロジェクトホームページ>



【問合せ先】
東京都都民安全総合対策本部 総合推進部
若年支援事業課 地域活動推進担当
TEL: 03(5388)3098

申込から開催まで

| 時期 | 事項 | 分担 |
|-------------------------|--|----------------------------|
| ～2月下旬 | 募集案内を区市町村青少年行政主管課へ通知 | 東京都 |
| 3月中 | 利用予定の検討→テーマの選択・会場の確保 | 区市町村主管課担当 地区委員会等 |
| 3月下旬 | 実施申込書 提出 | |
| 4月中旬 | 実施決定通知 | 東京都 |
| 開催予定日の 約2～3か月前 | 打合せ 実施区市町村の意向を伺い、会場の下見等を実施します。 | 東京都 区市町村主管課担当 地区委員会等 |
| 打合せ後 開催日前日まで (随時) | 企画内容確認 (メール・電話等) 上記打合せ内容を踏まえて作成した台本を基に、当日の 流れを確認していきます | 東京都 区市町村主管課担当 地区委員会等 |
| 6月～2月 | 事業当日 | 東京都 区市町村主管課担当 地区委員 |
| 開催1～2か月後 | 実施後アンケートの提出 | 区市町村主管課担当 |

ご利用にあたって

次のことをお願いしています

- 本事業が地域における「多様性の尊重・受容及び多文化への理解」の取組を支援するものであることを理解し、プロジェクト終了後も主体的な取組を継続して行えること。
- 実施日を調整し、青少年、地区委員及び地域住民等の参加を積極的に呼びかけ、広報すること。
- 区市町村民ホールや体育館、会議室等の会場を用意できること。
 - ・屋外会場の場合は、雨天時でも実施できる室内の会場も用意すること。
 - ・スポーツのテーマを希望する場合は、体育館など広いスペースを用意すること。
 - ・第2部でデジタル技術を活用した体験（VR等）を希望する場合は、体験用スペースを用意すること。
- 会場内において講師の控室が用意できること。
- 会場及び講師の控室は、準備のために原則開始2時間前から使用可能であること。
- 会場の付帯設備であるマイク、音響設備、冷暖房等の使用及びパソコン、プロジェクター等の視聴覚機材が準備できること。
- 当日の受付、その他プロジェクトの運営に携わる、担当の区市町村職員を派遣できること。